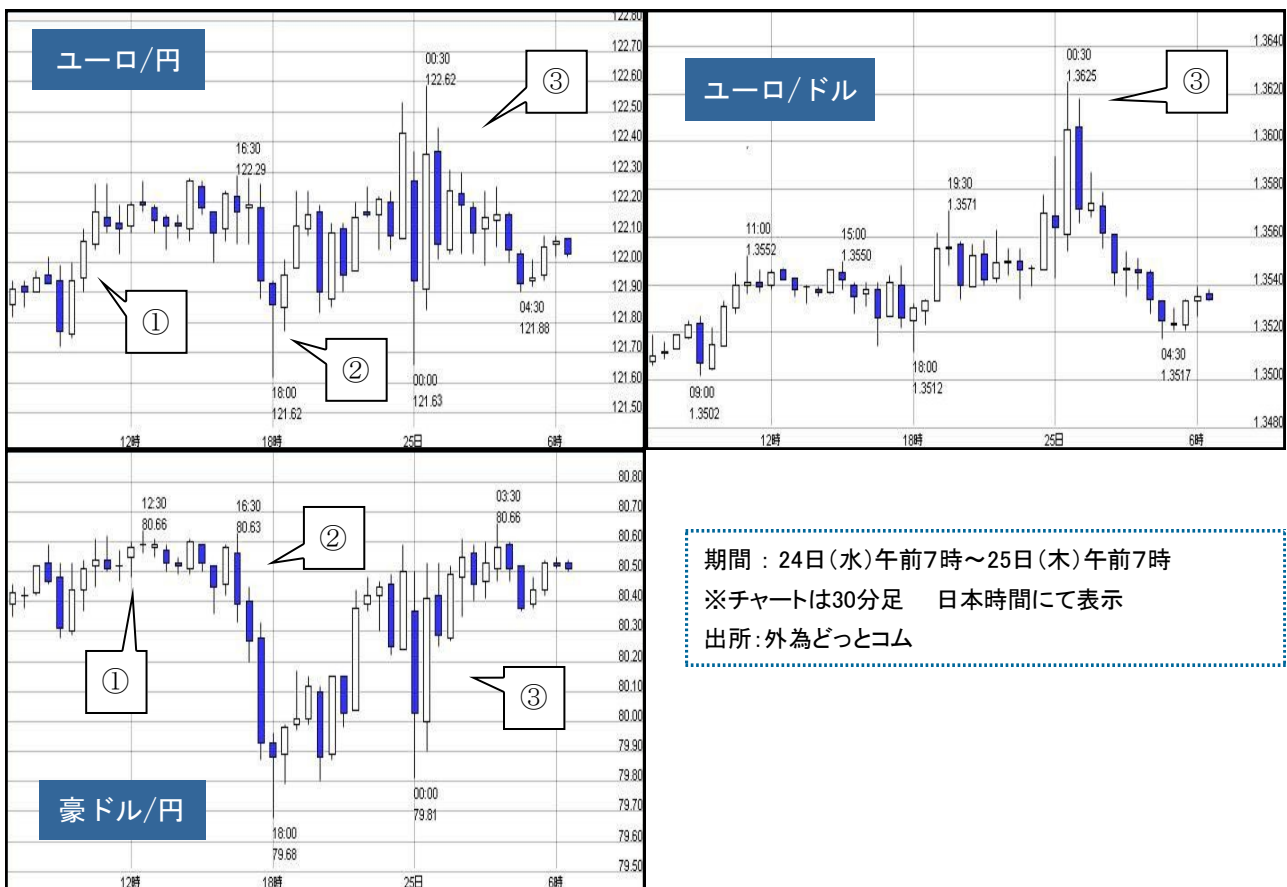


2月25日(木曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

ギリシャ格下げ懸念によりユーロ売り

24日(水)の主な推移



期間：24日(水)午前7時～25日(木)午前7時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 日経平均が寄付から 150 円近く下落した事でリスクを積極的に取る動きが後退したものの、本邦の投信設定に絡むクロス円の買い需要が出たことで相場は小動きとなり、バーナンキ連邦準備制度理事会 (FRB) 議長の議会証言を前に模様眺めのムードとなった。
- ② WTI 原油先物や NY ダウ平均株価先物が軟調に推移したことでリスクを回避する動きが強まり、豪ドル/円は 1 時間ほどで 1 円弱値を下げ安値 79.68 円を記録し、ユーロ/円は 121.62 円まで下落した。
- ③ 米 12 月新築住宅販売件数が 30.9 万件と市場予想(35.4 万件)を大きく下回り、1963 年の統計開始後最低の水準となったことに加え、バーナンキ FRB 議長が議会証言にて、長期の低金利維持を声明したことで金融引き締め観測が打ち消されたことにより、ユーロ/ドルは 1.3625 ドルまで上昇した。しかし米格付け会社 S&P がギリシャ格下げの可能性について言及したことでユーロは下落に転じ、ユーロ/ドルは 1.3517 ドルまで値を下げた。クロス円はドル/円と対ドル通貨の乱高下に挟まれ複雑な動きとなった。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3480-1.3650ドル
 ユーロ/円 : 121.50-123.20円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 79.70-81.20円

昨日はギリシャ国内にて広範囲なゼネストが発生した上、米S&Pがギリシャ国債の格下げについて言及したことでユーロが売られた。もしギリシャ国内でのストが長引けばユーロの下落圧力は強まることが予想される。

本日も昨日に続き、米指標を見ながらの推移が予想される。先週は米新規失業保険申請件数が予想外に悪化したことでドルが売られており、もし今回も申請件数が増加した場合はドル売りが強まることが考えられる。とはいえギリシャ問題が根底にあるうちは、ユーロ買い一辺倒の展開も期待しづらい。

昨日は豪州において主だった指標発表が無い中、時間外の原油先物相場が下落した事により豪ドル/円は下落する場面が見られた。本日も株式や商品市況に連動した投資家のリスク許容度に左右される展開が予想される。

テクニカル的には2日連続で下ヒゲの長い足形となっており、引値が80円台を維持できれば反発に向かう展開も想定される。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/25(木)	17:55		(独) 2月失業率	8.2%	8.2%
	22:30	○	(米) 1月耐久財受注 [前月比]	+0.3%	+1.5%
	22:30	○	(米) 1月耐久財受注 [前月比:除輸送機器]	+0.9%	+1.0%
	22:30	○	(米) 2/21までの週の新規失業保険申請件数	47.3万件	46.0万件
	27:00	○	(米) 財務省7年債(320億ドル)入札	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。